

JAIC 大学・学生・企業をつなぐキャリア情報誌

キャリアのミカタ

2021.Jul Vol.16



Theme1

コロナ禍で就活に苦戦する女子学生を支援
～22卒女性限定Web面接会～

Theme2

22卒アンケート調査結果
就職活動のWeb化状況調査

コロナ禍で就活に苦戦する女子学生を支援 ～22卒女性限定Web面接会～

NHKが労働政策研究・研修機構と共同で昨年11月に行った調査によると、2020年4月以降に新型コロナの影響で、仕事になんらかの影響（失業・離職・休業・労働時間急減）があった女性は、男性の1.4倍に上りました。（『新型コロナウイルスと雇用・暮らしに関するNHK・JILPT共同調査』）

実際、21卒採用でも、航空会社、旅行会社、ブライダル、ファッション業界など、女性に人気がある業界で採用を中止したり、採用枠を減らしたりする企業が相次いでいます。また株式会社リクルートによる内定率調査でも、例年、7月時点の内定率は男性よりも女性のほうが高いのに対して、今年7月時点での22卒の内定率は、女性の方が低くなっています。

そうした中、当社は大学関係者様より「視野をうまく広げられない女子学生や、業界を切り替えた（切り替えようとしている）女子学生に対し、どのような就職支援をするとよいのか」というご質問をしばしばいただきます。当社は先日、このような女子学生を支援するために女性限定の研修およびWeb面接会を開催しましたので、その様子をご紹介します。

（STEP 1）ガイダンス～これからの社会とキャリアを考える～

「結婚したら、女性は仕事を辞めて、専業主婦に――」こうした生き方が女性の主流だった時代はすでに終わり、多くの女性が、結婚や出産・育児等のライフイベントと仕事とを「両立」させながら社会で活躍しています。あるいは、結婚はせず、仕事や趣味などを充実させながら人生を楽しむ女性も多くいます。

加えて、平均寿命が伸び、「人生100年時代」といわれるこれからの時代、キャリアの選択肢はますます増えていきます。学校教育を終えたあと、長い人生の中で、さまざまな働き方や、仕事以外の経験もできるようにするのがいいのです。

キャリア選択の自由度が高まることは歓迎すべきことと思いますが、一方でそれは「決められたルールがなくなる」ことでもあります。そこでこのガイダンスでは「選択肢が増えた中で納得感のある人生を送るためには、それぞれの場面で、自分自身で選択することが大切。就活はその第一歩」と学生に伝えました。

人生100年時代 ～キャリアはマルチステージ化～



（STEP 2）研修～自分の価値観・強みを言語化する～

就活において、学生が自分自身で良い選択をするには、自分の価値観や強みをきちんと把握し、それを面接官に伝えられることが大切です。そこで今回の研修では、Future Finderという適性診断サイトの結果を用いながら、自分の価値観や強みを考えていただき、それを話せるように繰り返しロープレを行いました。参加した学生からは「就活の軸（＝人生の軸）をきちんと見直すきっかけになった」「大切にしたいことを言葉にできた」「何度も面接練習ができ、フィードバックももらえたので自信がついた」といった声を頂きました。

（STEP 3）面接会～強み・価値観を共有する～

面接会本番では、女性の採用意欲の高い企業9社との面接を実施しました。今回は特に、**学生の価値観や強みを企業に理解してもらうため**、参加学生の価値観と強みの一覧を事前に企業に配布しました。1回の面接時間は20分。通常ならば印象面での評価になりがちなところ、今回は、内面を理解していただいた上での良いマッチングを作ることができました。参加企業からは「面接で実際に聞くことと、事前にいただいた価値観の内容を照らし合わせて考えられるので、判断しやすかった」という声を頂いています。

面接会に参加した学生の声

「女性限定面接会では、企業の方もいろいろな質問をしてくださったので、リラックスしてたくさん自分のことを話せました。事前の研修で、ジェイックの方が自己PRや面接の受け方のアドバイスをしてくださったことも大きかったです。研修を通じて自己理解も深まった結果、面接での話の幅も広がりました！」（私立大学大学院生）



「女性が活躍できる企業を、いろいろな業界にわたって紹介してくれたのが良かったです。なかには『あまり見てなかった業界だけど、私の価値観に近く、女性が活躍している会社』もあって、企業選びの幅を広げることができました。事前の研修も、面接の練習ができたり、就活仲間から刺激ももらえたりして、良かったです！」（私立女子大学生）



ガイダンスと研修を担当した、ジェイック木村なぎさより

自身の価値観・強み・将来ありたい姿を言語化することは、就活時のみならず社会人になっても役立つことだと思っています。女子学生は、今後、仕事・結婚・出産・育児・・・とそれぞれライフイベントを迎えると思いますが、**価値観等を言語化することは、自身の取り扱い説明書を作成し、自分で自分を幸せにするための自走を促すことになるから**です。

私自身、現在、1歳の息子の育児に奮闘しながら仕事をしています。ありたい姿が明確なので、日々、自分がすべきことを判断しながら、やりがいのある毎日を過ごしています。今回の女子学生向けのガイダンスと研修は、価値観やありたい姿の言語化を短時間でできるように工夫して設計しました。今後も、学生の皆さんが主体的に、前向きに就職先を決定できるよう、支援していきます。



STEP2の研修のスライドの一部を、会員制サイト「キャリアのミカタplus」で公開しています。

右のQRコードを読みこんで、ご登録ください。

URL : <https://form.run/@jaic-career-mikata-regist>



就職活動のWeb化状況調査

2021年7月2日～7月6日に、22卒の就活生に対して、就職活動のWeb化状況調査を実施しました。今回は、その結果をお伝えするとともに、昨年7月に21卒で実施した同調査結果とも比較をします。

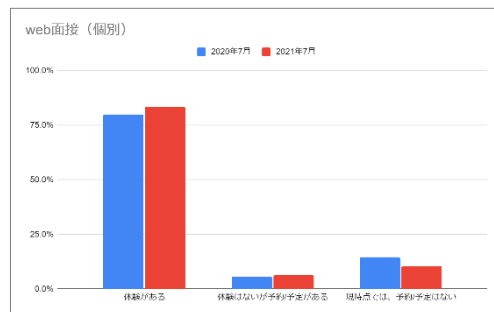
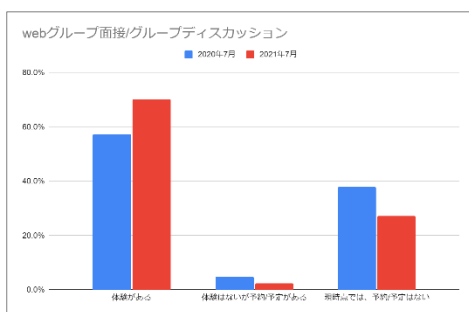
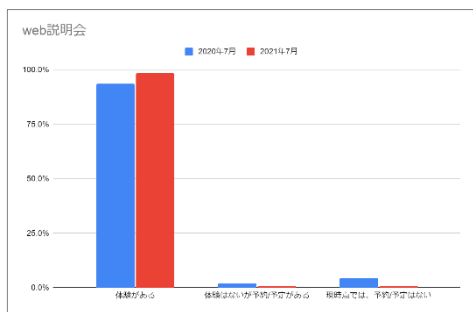
※就職活動のWeb化状況調査 回答数：239件 期間：2021年7月2日～2021年7月6日

※弊社就職支援の特徴として、6月以降も就職活動を継続している学生が調査対象の中で多くの比率を占めています。

■Web面接は、ほぼ全員が経験済み。21卒との目立った違いはない

これまでの就職活動の中でWeb説明会や面接を実施している人の割合は、**昨年と比べてほとんど変わりませんでした。**説明会、グループディスカッション、個別面接それぞれで見ても大きな違いは無く、ほとんどの学生が一度以上はWebでの面接等を経験しているといえます。

Q.これまでの就職活動の中でWeb説明会・Web面接の体験はありますか？



■9割以上の学生が、就職活動の半分以上がWebになっていると感じている

就職活動はどれくらいWeb化が進んでいると感じていますか？という質問に対して、22卒では96%の学生が「半分以上をWebで実施している」と回答しました。21卒と比較すると約5ポイント増えています。さらに選択肢別に見てみると、「ほとんどがWeb」「Web面接の方が多い」と回答した人が合わせて約15ポイント増加、一方でWebも対面も半々と答えた人は約10ポイント減りました。**22卒では、21卒以上にWebの就職活動が主流となっている**ことがうかがえます。

■対面とWebとで大きな違いは感じていないが、そもそも対面を実施していないので、具体的な違いはわからない？

対面での面接とWeb面接で、選考の内容や対策に違いを感じていますか？という質問に対しては、「変わらない」「あまり変わらない」と回答した人は21卒と比べ約4ポイントの増加、「違う」「やや違う」と回答した人は約10ポイントの減少、「わからない」と回答した人は約6ポイント増加しました。全体を通して大きな違いはありませんでしたが、そもそも対面での面接を実施していないので違いがわからない、という人もいるようです。

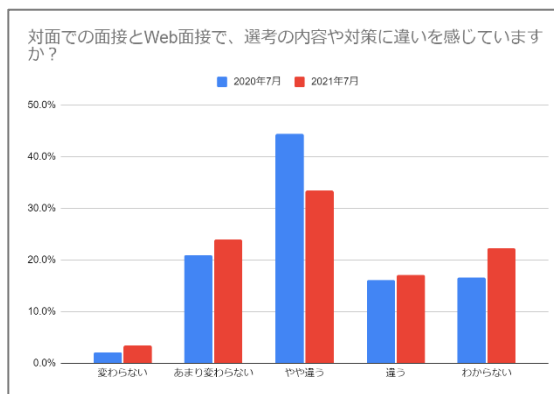
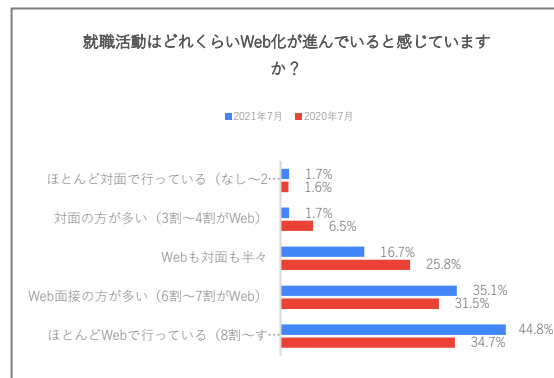
なお、対面とWebとで「変わらない」「あまり変わらない」と回答した人には、「態様が変わっても、面接の内容や企業の質問の意図などは変わらないので、対策等に違いはない」と感じている人が多かったです。一方で、対面とWebとは「違う」「やや違う」と回答した人は、「Web面接だと、雰囲気やボディランゲージを用いたコミュニケーションが伝わりにくい」など、感覚的な部分や環境面における違い（Web面接だと、カメラに収まる部分しか見えない等）を理由とする人が多かったです。

対面面接もWeb面接も、企業の質問内容等に違いはないので、受け答えの内容面の対策はこれまで通りで問題ありませんが、環境面の対策は、対面面接とWeb面接とで区別して行う必要があるでしょう。

対面面接とWeb面接とで、次のように感じる理由を教えてください（自由記述）一部抜粋

▼変わらない、あまり変わらない

- ・聞かれることはWebでも対面でも同じ様なものが多いです。
- ・質問内容は一緒だから。
- ・対策に違いはないですし、質問内容も大きな違いがないので、変わらないと思います。
- ・どちらも経験したがやはり面接官次第
- ・面接の仕方は同じだから
- ・ただ目の前にいるかいないかの違いかなと思う
- ・限られた時間内でコミュニケーションを取る点は変わらないから
- ・対面がwebに変わったただだと感じたからです
- ・目線や話し方など、気をつけるところは同じだから
- ・webでも対面でも同じ対策をしていて、違いを感じたことは特になから。



▼やや違う、違う

- ・webだと相手の息遣いから会話のタイミングを探れない、リアクションもオーバーにしないといけないなどの違いがあるため。
- ・対面だと会社や社員の方の雰囲気わかるが、WEBだとそれが分からないし自分の雰囲気も伝わりにくいから。
- ・web面接と対面面接では意識すべき点が違うから。
- ・webの場合、予期せぬ回線トラブルなどがあり焦ってしまう事がある
- ・話しやすさなどが違います。
- ・対面は仕草なども見られると思うから
- ・対面では会社の雰囲気の中で面接などを行うのに対して、オンラインだと自宅などの雰囲気で行うから
- ・熱量が伝わりづらいため。
- ・対面とwebではマナーが違う。またwebテストにおいても電卓使用可などの違いがあるから
- ・回線状況により不具合が生じることもあるから
- ・Webは移動時間や服装にそこまで気を使わなくて良いからリラックスできる。
- ・対面の場合、部屋への入り方等のビジネスマナーが必要になる
- ・グループディスカッションが録画面接になったりしている。
- ・Webの方が時間の区切りがシビアに感じるため。
- ・対面の方が全身を見られるため、よりマナーに気をつける必要があると考えるため。
- ・webの場合は、メモを取ることができるので見直ししやすい。

▼わからない

- ・対面の面接をやったことがないから。
- ・あまり違いを気にしてない
- ・Web面接を受けたことがないから

■Web面接のメリットは「時間」、デメリットは「環境」

Web面接のメリットとデメリットに関しては、下記のような回答でした。やはり、メリットに関しては、「移動時間や交通費がかからない」「1日に何社も選考を受けることができる」など、時間に関する意見が多くありました。一方でデメリットに関しては、「お互いの通信環境によって、快適に面接ができるかどうかが左右される」「面接という緊張した空気感になりづらい」「自分の声がどう届いているか認識しづらい」「カメラを見て話を聞いていると、面接官の表情や反応が見えない」といった意見が挙げられました。

メリット	デメリット
リラックスして挑むことができた 大学の講義と並行しやすい 周りを意識せずに集中できた 時間の節約ができること 現地に行く必要がないので、交通機関の遅延などを気にしなくて良い点 準備がしやすい、交通費が発生しないため企業選びの幅が広がる 対面の時より緊張しないため、自分の言葉で話せて後悔せずに終えることができる 別のタブで自分が提出した履歴書を開いたり、Wordなどに言うべきことをメモしておいたりできるので、最悪頭が真っ白になっても大丈夫という安心感がある 一日に複数企業を受けられる 現地に行かなくて良いので、県外の企業も受けやすい 移動時間が無いので、学校の欠席が少なく済むこと 会場へ行くまでに迷うことがないので余裕を持って受けられること 手元や画面に資料を用意できる	通信環境の問題 声が聞き取りづらい時がある点。会社の雰囲気が掴みにくい点 通信トラブルや企業側のツール理解度不足による遅延等が頻繁に起こること 内定を頂いても会社の雰囲気を知ることができない 本質を見てくれているのだろうか、と言う不安があります 自分の言ったことがきちんと伝わっているかわからない zoom等メジャーなものの以外の独自のビデオ会話ツールを使う際に、場合によっては一悶着ある 自分の表情が気になること 相手の話が聞こえなかった時に聞き返すのが怖い カメラを見ながら相槌を打つとなると、そのとき話している人の表情やしぐさを確認しづらいこと セッティングが少し大変です 自分の声がどのように聞こえているのかが分からないこと。 暗くうつってしまう

■まとめ

21卒と22卒で、Web面接に対する意識に大きな違いはありませんでした。しかし今年は昨年に比べて、確実にWeb面接が主流になってきていることが読み取れます。面接の内容そのものに違いはないので、受け答えの中身に関する対策はこれまでどおりで問題ありませんが、Webと対面とで違いの出てくる環境面に関しては、それぞれで異なる対策をしていく必要があると感じます。

キャリアのミカタplusでは、「学生の指導ポイント」等の記事を掲載中！

キャリアのミカタplusでは、「『自己分析が進まない』学生に確認すべき3つのポイント」や「第一印象の指導の仕方」といった、学生の指導ポイントをまとめた記事を掲載しています！是非ご覧ください！

会員登録⇒ <https://form.run/@jaic-career-mikata-regist>



最後までご覧いただき、ありがとうございました。少しでも貴校の就職支援の参考になれば幸いです。
最後にアンケートのご協力をお願いいたします。今後のキャリアのミカタの参考にさせていただきます。
率直なご意見をお寄せください。右のQRコード、もしくはURLからご回答をお願いいたします。

現在、多くの大学様から、Webでの就職支援のご依頼を受けております。
お困りのことがございましたら、お気軽にお問い合わせください。
最新情報や貴校に合わせた支援内容をご提供させていただきます。

キャリアのミカタ7月号アンケート
<https://forms.gle/wNoq9ird4KC52K9p8>

